

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5

TEL 03-3363-1661

FAX 03-3371-1021

<http://www.haruyama-hosp.com>

e-mail : info@haruyama-hosp.com

腹腔鏡下手術

診療部 消化器科
橋本 大樹

腹腔鏡下手術とは、おなかに開けた数か所の小さな穴から、先端に超小型カメラと鉗・鉗子などがついた器具を差し込んで、モニター画面に映し出した映像を見ながら手術をする方法です。

腹腔鏡下胆嚢摘出術がわが国に導入されてから、約15年が経過しました。その後、腹腔鏡下手術の適応は徐々に広がり、現在では進行性の胃癌や大腸癌に対しても行われています。リンパ節郭清についても開腹術と同等の手技が可能となりました。

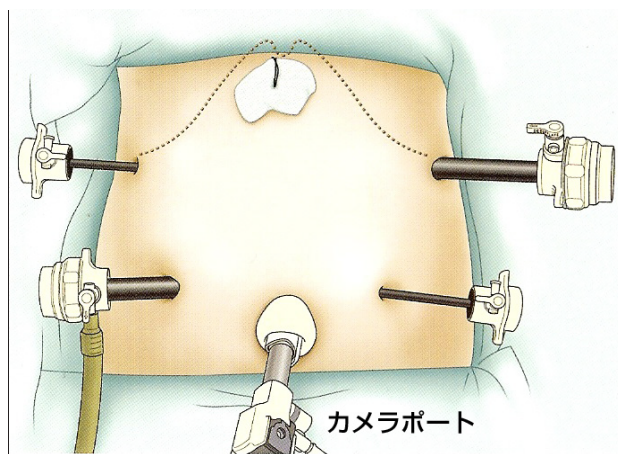
その長所は傷が小さいことから、美容上はもちろんのこと、痛みが少なく、それにより腹部外科の術後経過にとっても重要な要素となる早期離床が可能となります。

短所としては視野が狭く、また臓器に直接触れることができないことから、副損傷（腸や尿管・血管などを損傷）を来したり、出血に対する処置が遅れるなどがあります。

初めは私自身、胆嚢摘出術はともかく、胃癌や大腸癌に対しては手術時間も長くなり、医師の自己満足の手術ではないかと考えていました。しかし、経験するうちに、なぜか驚くほどに術後の回復が早く、侵襲の低さを実感しました。

私個人は腹腔内臓器が大気に触れている時間と関係していると考えています。

但し、どのような手術でも手技を達成すれば良いというものではなく、患者様のメリット・デメリットを考えたいで行うべきであり、特に腹腔鏡下手術では、その適応は厳しく吟味すべきだと思います。また困難例に対しては開腹術移行を躊躇せず、安全性を重視することが大事であると考えます。



画像提供：タイコヘルスケアジャパン

当院におきましても胆嚢疾患、大腸疾患に対しては腹腔鏡下手術を取り入れております。当院での適応に関しましては、患者様個々で異なりますので、お問い合わせください。

平成18年4月～18年9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外来患者延べ数	4,441	4,586	4,837	5,060	5,191	4,790	28,905
入院患者延べ数	1,528	1,459	1,539	1,636	1,538	1,396	9,096
搬送救急車台数	508	524	365	484	484	451	2,816
平均在院日数	11.6	9.4	13.8	14.4	14.2	16.2	13.2
手術件数	50	48	44	46	44	38	270

脳ドック開始にむけて

当院ではただいま脳ドックを始めるための準備を進めております。施設の都合上ゆっくりと寛いでいただくスペースがない為、短時間で正確な診断を売りにした脳ドックを目指しております。MRIや3D-CTA検査も行いますが、どなたでもお手軽に受けいただけるよう検査コストを抑え、「迅速かつ正確な診断を低価格で」をモットーに考えております。当面は曜日を限定して試験的にスタートする予定です。詳細が決まり次第ご連絡させていただきますがその際はご紹介などよろしくお願い致します。

お電話下さい

《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平日 9:00～17:00

土曜日 9:00～16:00

CT、MRI検査は「放射線技術科」

脳波検査は「臨床検査室」

その他については「外来看護師」
が対応いたします。

《入院依頼》

9:00～17:00の診療時間内の入院依頼は
診療担当医又は鈴木が対応いたします。
夜間、休祭日は当直医が対応いたします。

その他のご相談は医療相談室で承ります。

*当院専用の情報提供書及び検査依頼書が
ございます。ご利用頂ければ幸いです。
お電話いただければすぐにお送りします

救急医療に貢献しています

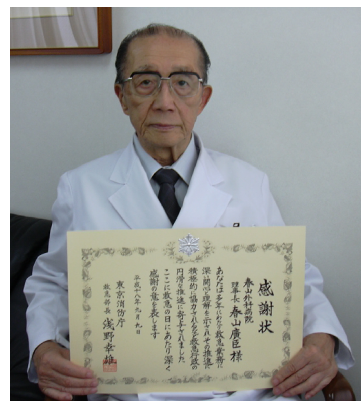
9月9日の「
救急の日」にちなみ、当院の日頃の救急医療活動に対し東京消防庁より感謝状を頂きました。

当院は小規模
病院ながら年間の
5000台以上の救急搬送を

受け入れております。1日の平均救急搬送台数は実に15台に達します。

しかし、もちろん単に件数や台数をこなすだけの救急医療でなく、医療の質の向上も図っており、2月には日本救急医学会の指導医を常勤医師として迎えるなどして、救急医療体制の強化にも努力しています。

「日本一の繁華街・歌舞伎町」に隣接する「日本一の二次救急医療機関」を目指していこうと考えております。



編集後記

紅葉シーズン…気がつけば今年もあと僅かですね。1月に「はるのたより」を発行してあっという間に1年が経ってしまったという感じです。でも考えてみれば、毎年「1年って早いな～」なんて、その年を振り返っている気がします。

充実しているから早く感じるのかな(笑)?

地域連携室長(副院長) 岡田和紀

鈴木秀道 八鍬美香子 内山慎吾

柴谷健吾 岡田直子 五十嵐一光 飯塚瑞穂